



発行所 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田2丁目2番1号
鎌倉河岸ビル4階
電話 03 (3256) 1981
FAX 03 (3256) 1982
水色の羽根募金運動

平成十一年度事業の概要

平成十二年度第一回理事会・評議員会開催

去る五月十七日、平成十二年度第一回理事会及び評議員会が開催され、事務局から提案された平成十一年度事業報告及び収支決算案が承認されました。

また、学資給与規程の一部改正案についても承認されました。
また、漁船海難遺児を励ます全国協議会において、五か年五億円を目標とした第八期育英資金募金運動を平成十二年より開始することが決定されました。

我が国の景気は、底を脱したと言われるものの依然として超低金利が続く、本会の事業運営もこの影響を受け一段と厳しさを増しておりますが、平成十一年度の事業は、皆様のご協力及びご支援によって滞りなく終了することができ、深く感謝申し上げます。

また、漁船海難遺児を励ます全国協議会において、五か年五億円を目標とした第八期育英資金募金運動を平成十二年より開始することが決定されました。これを本会として、平成六年以来六年間据置となつて、奨学金の改善をはかりたいと考えております。

平成十一年度のこれまでの事業概況を申し上げますと、まず、育英事業の関係は、事業費総額一億四四〇〇万円をもって、学資給与生六〇六名、奨学金貸与生二二四名、合計七三〇名を奨学生としてお世話をして参りました。

また、漁船海難遺児を励ます全国協議会において、五か年五億円を目標とした第八期育英資金募金運動を平成十二年より開始することが決定されました。これを本会として、平成六年以来六年間据置となつて、奨学金の改善をはかりたいと考えております。

次に、募金の関係は、年間目標一億円に対して厳しい諸環境を反映して七八〇〇万円の実績でした。ご協力くださいました漁協系統をはじめ関係各位には深く感謝申し上げる次第であります。

さて、平成十一年度の事業報告及び三、育英事業推進事業

①本年度は第八回漁船海難遺児を励ます「海と子供」の写真コンテストを開催し、入選作品はポスターなど本会育英事業の紹介資料等に用い、広く配布しました。
②漁船海難遺児を励ます全国協議会・同地方協議会及び漁協婦人部連絡協議会等の協力を得て、全国各地で行われた各種イベントにおいて広報及び募金活動を実施しました。

③事業の基礎資料として、海難遺児の生活実態(母親の職業)とその背景にある社会環境を把握するため、漁船海難遺族実態調査を島根県西郷町及び山口県萩市と下関市で実施しました。

また、前年度に引き続き、日本財団から学資給与事業及び大学等奨学金貸与事業に対して二〇九三九〇〇〇円の補助金が交付されました。
また、漁船海難遺児を励ます全国協議会が平成十二年度より第八期育英資金募金活動を開始することとなり、これを認め、平成六年度以来六年間据置となつて、現行の奨学金の教育費に対する充足率が低下してきているため、別表のとおり学資給与金を増額し、保護者が負担する教育費の軽減を図ることとしました。

去る平成十二年五月十日、平成十二年度第一回選考委員会が開催され、「第一回奨学生出願者(平成十二年四月二十五日締切り)の選考」について審議されました。この結果、幼稚園・小中学校在学の学資給与奨学生一九名、高校等在学の学資給与奨学生六四名(うち、高校等貸与奨学生の併願九名)、大学等在学の貸与奨学生二七名、合計一〇九名(実質一〇〇名)の採用が決定しました。

なお、前年度からの継続奨学生と併

承認されましたので、四月に遡り実施いたします。
なお、森安良専務理事が五月末日をもって辞任することとなり、小川宏一氏を六月一日付で専務理事に選任しました。六年余にわたり本会育英事業の発展のため、ご尽力下さいました森前専務理事に深く感謝申し上げます。

また、漁船海難遺児を励ます全国協議会が平成十二年度より第八期育英資金募金活動を開始することとなり、これを認め、平成六年度以来六年間据置となつて、現行の奨学金の教育費に対する充足率が低下してきているため、別表のとおり学資給与金を増額し、保護者が負担する教育費の軽減を図ることとしました。

また、漁船海難遺児を励ます全国協議会が平成十二年度より第八期育英資金募金活動を開始することとなり、これを認め、平成六年度以来六年間据置となつて、現行の奨学金の教育費に対する充足率が低下してきているため、別表のとおり学資給与金を増額し、保護者が負担する教育費の軽減を図ることとしました。

去る平成十二年五月十日、平成十二年度第一回選考委員会が開催され、「第一回奨学生出願者(平成十二年四月二十五日締切り)の選考」について審議されました。この結果、幼稚園・小中学校在学の学資給与奨学生一九名、高校等在学の学資給与奨学生六四名(うち、高校等貸与奨学生の併願九名)、大学等在学の貸与奨学生二七名、合計一〇九名(実質一〇〇名)の採用が決定しました。

なお、前年度からの継続奨学生と併

学資給与金改正 (単位:円)

Table with 5 columns: 区分, 平成11年度, 平成12年度以降, 改正内容, 教育費に対する奨学金の充足率(%)

「育英会だより」の原稿をお待ちしています
◎題材は自由です。最近の出来事や、詩、随筆、奨学生への励まし、「育英会だより」に対するご意見、ご要望をお寄せください。
原稿は八百字以内で、顔写真を添えて本会までにお送りください。
イラスト、写真もお待ちしております。

寄付・育英事業・文集
育英会だより等すべてのお問い合わせ先
〒101-0047 東京都千代田区内神田二丁目一
鎌倉河岸ビル内
TEL 〇三―三二五六一―九八八―
(午前九時から午後五時まで)
FAX 〇三―三二五六―一九八二
(二十四時間受付)

また、高校・大学等奨学生に貸与する奨学金をある期間、定期的にご支援いただく、「励ましおじさん・おばさん会員」のご加入もお願いしております。ご希望の方はお問い合わせください。

さて、新規奨学生を加えた平成十二年六月末日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」の通りです。ご覧下さい。

戦没・殉職船員追悼式
五月十五日、神奈川県観音崎の「戦没船員の碑」にて、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、「第三十回戦没・殉職船員追悼式典」がしめやかに執り行われました。
この追悼式は、先の大戦で尊い犠牲となられた戦没船員及び、海難や労働災害により不幸にして殉職された船員の方々の慰霊と海上永遠の平和を祈念

『第五十回浅海増殖研究発表全国大会』開催

去る六月七日、兵庫県明石市「市立市民会館」において、『第五十回浅海増殖研究発表全国大会』（浅海増殖研究中央協議会、全国海苔貝類漁業協同組合連合会主催）が開催され、生産技術の向上・消費拡大を目指した研究成果の発表や表彰式などが行われました。また、同市「大蔵海岸」では、大会に併せて『海苔機械資材展示会』も開かれ、両会場には全国から約三五〇人が集まりました。

なお、大会当日、兵庫県漁連の職員の方々をはじめ大会関係者のご協力

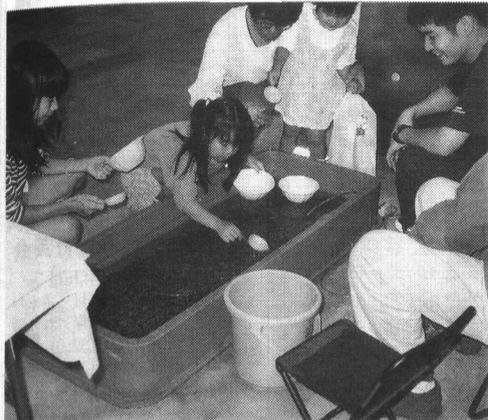


もと、市民会館入り口にて募金活動が行われ、来場された皆様より温かいご支援を賜ることができました。ここに深く感謝申し上げます。

千葉県水産まつり 〜二〇〇〇年 みんなで拓こう ふるさとちほ〜

六月十日、十一日の二日間、千葉県民の日記念行事として、「わくわく県民まつり」が千葉市・幕張メッセ国際展示場において開催されました。

このおまつりは、県民にふるさとを愛し、郷土への理解と関心をより一層深めてもらうために、県内の農林業・漁業団体等が毎年行っており、今年で十七回目の開催となりました。両日とも悪天候にもかかわらず、二十四万人以上の方が来場し、四つに分類されたゾーン（やすらぎ・ふれあい・つくる・くらし）で郷土土産の買い物や食事、イベント観覧など楽しめました。



漁業団体は「つくるゾーン」（産業・生産をテーマ）でふるさとフェア「水産まつり」として参加し、魚介類等の販売、海苔やつみれ汁等の無料配布、まつり寿司の料理実演などを行い大変賑わいました。

また、実行委員会（千葉県漁連・県内漁協系統団体等）では「漁船海難遺児育英募金」として「チャリティー金魚すくい・募金コーナー」を設け、訪れた方々に「水色の羽根募金」への理解と協力を呼び掛け、たくさんのご協力をいただくことができました。なお、金魚すくいの収益金や募金箱に寄せられました募金は、漁船海難遺児の育英資金として本会へ寄付されます。ご協力いただきました、関係者をはじめ多くの皆様に深く感謝申し上げます。

就任のご挨拶

（財）漁船海難遺児育英会

専務理事 小川 宏 一



この度、六月一日付けで（財）漁船海難遺児育英会の専務理事に就任いたしました小川です。

私は全国漁業協同組合連合会（全漁連）出身で前職は全漁連広報室に勤務しておりました。

私の育英会との繋がりには、昭和四十三年のある夕方、全漁連の先輩諸氏と新橋のさる処で業務の打ち合わせをしていたときに、交通事故の話から「交通事故遺児には育英会があるが、漁船海難事故には、そのような仕組みがない。何とか漁協系統の力でこのような仕組みを作れないものか、というまじめな話になり、皆で具体的に動こうではないか」と

衆議一決したことが最初です。この話の三年ほど前、昭和四十年十月七日台風二九号を避難避航したマリアナ諸島アグリガン島沖で静岡県のカツオ一本釣り漁船七隻が遭難し、一夜にして二〇九人の遭難者を出した痛ましい事件がありました。育英会十周年記念誌「漁船海難遺児を励ます運動十年の歩み」によると、国（水産庁）はこの事故を契機に昭和四十一年十月に「漁船海難の場合、救済活動を助長するため、漁船の海難の発生に際し、救済のための諸活動を円滑に行い、もって漁業活動の安全と漁業経営の安定に資する」ことを目的とする漁船海難救済

基金協会を設立したが、この段階でも遺家族対策は個々の善意に期待する域を出ていなかった。

その前後から各地の漁協婦人部から船員法の適用のない小型沿岸漁船乗組員の海難事故に対する扱いの不公平感が強く、系統組織として何らかの措置をとるの希望が全漁連に寄せられていた。

全漁連は大きな漁船海難事故が起るたびに、全国の漁協系統に対して儀損金募集を呼びかけていたが、遺家族対策は漁業界全体の問題であり、個々の善意に都度頼ることなく対応できる常設の仕組みが必要との認識を強めてゆき、ようやくこの頃から遺家族への対策が注目されるようになった。

他方陸上では道路網の急速な整備から自動車による交通事故が多発、残された母子家庭の子供たちの生活と教育問題が大きな問題となり社会問題として関心を呼ぶようになり交通遺児を励ますキャンペーンが展開

され始めていた。昭和四十四年六月全漁連と全漁婦連は運動体としての「漁船海難遺児を励ます全国協議会（全国協）」を設立へとつなげていった（昭和四十五年十月二十九日設立）と述べています。

このように、先達たちが三十年前に設立に努力され、育て上げた意義ある育英会を、このたび担当させていただきますことになりました。

今後とも関係各位のご支援とご協力により、事業基盤の強化と事業内容の充実に向けてまいり所存であり、重責ではありますが、微力ながら誠心努力いたしますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

退任のご挨拶

（財）漁船海難遺児育英会

前専務理事 森 安 良



平成六年五月に私が育英会の専務理事に就任してから丸六年が経過しました。私にとってあつとと言う間の期間でした。この度退任することとなりましたが、この間、鈴木理事長を始め役員の皆様を支えられ、大過なく任務を全うすることができました。このことを心から感謝申し上げます。

育英会の仕事は、私も役員が頑張るだけでは成り立ちません。漁協系統を始めとする水産関連産業界の皆様のほか、広く一般の皆様の特段のご理解とご協力を得てはじめて制度の維持・改善を図ることができ

るものです。お陰をもちまして、本育英会は、本年度で設立三十周年を迎えます。設

立当初は、小・中学生を対象にせめて給食費でもと言うことで始まったわけですが、皆様方の温かいご支援によりまして、今日では、幼稚園・

保育園児から大学生までの、他に類のない一貫した育英制度になっております。

私の在任期間中は、丁度バブル経済がはじけ、世の中は不況と超低金利の真只中でした。寄付金の運用益で経費を賄う育英会にとつ

ては、まことに厳しい時期でしたが、関係の皆様方の温かいご理解によりまして、第七期募金運動は、目標額五億円をほぼ達成し、また、本年度からは新たに五年間の第八期募金運動を開始して頂く運びとなりました。

この財源確保を担保として、平成六年度以降六年間据置いて来ましたが与水準を見直し、学資給与額の増額を図ることとし、現在、理事会の議決を得た上で、農林水産・文部両大臣に給与規程改正案の承認申請を行っております。承認が下り次第、四月に溯って適用することとしております。

高校の義務教育化等、高学歴化の進行の中で、家庭における教育費の負担が増大しており、片や学級崩壊、いじめ問題、中途退学等お母様を始め子供さんを取り巻く教育環境は、一段と厳しさを増している情勢です。しかしながら、皆様を温かく見守



保護者からのお便り

*いつも送金ありがとうございます。下の子も小学校へ入学して、今は運動会の練習を頑張っています。

(北海道 川内谷美千代)

*いつもお世話になり、ありがとうございます。主人が亡くなった当時、小学校一年生だった長男も、この春、専門学校に入学し、家を出て下宿生活が始まりました。一歳と二歳だった娘たちも中学校生活を楽しんでます。それぞれとても明るく、素直に育ち、周囲の皆様はじめ育英会の励ましがあつたからこそと、ただただ、感謝申し上げます。今夏、主人の十三回忌です。

(北海道 横山絹子)

*夫の三回忌を終え、娘も良縁に恵まれ、新たな旅立ちをしました。いろいろな思いを胸に夫の遺影と共に挙式披露宴にのぞみました。いつまでも娘の心に生きている父と共に！

(青森県 高橋美津子)

*長い期間にわたり、就学を援護してくださいまして心より感謝申し上げます。おかげさまで無事卒業することができました。ありがとうございます。進学するにあたりまして大学が近くで自宅から通学できる事、アルバイトをする事、なによりも今まで給与金という形で援助していただいた事など話し合い、奨学金を借りずに頑張ってみることにいたしました。これからも親子共々引き締めて行きたいと思っております。長い間、本当にありがとうございます。

(青森県 榎林ツナ)

*皆様にはいつもお世話になりました。息子は今年中二になりました。昨年は運動部に入学しました。日毎に心身共にたくましくなってきました。私も頑張っています。

(岩手県 岡谷美貴子)

*学資給与金ありがとうございます。長男が来年、高校を卒業になります。小さい時は、お父さんと言う言葉を口に出して言うのが悲しむだらう

(岩手県 岡谷美貴子)

と思いはなかったのですが、この間、「お父さん生きていたら、一緒に酒でも飲みたかったなあ。」と一言も言わなかった。卒業して親から離れて行くのでさみしく感じます。

(宮城県 鈴木みえ子)

*いつもありがとうございます。お陰様で次男、三男共に今春、入学・入園しました。次男を優しく見守る長男の後姿、兄に遅れない様にと必死で付いて行く次男の後姿、そして、幼稚園へと向かう三男の後姿。それぞれを毎朝見送りながら、いつの間にか、こんなに成長した息子達に「ガンバレ」とエールを送り続ける近頃です。

(宮城県 中里記子)

*いつも心暖まる奨学金を頂きまして、誠にありがとうございます。おかげ

で子供達も順調に成長し、主人も亡くなってから、早、まる十年過ぎ、年月の過ぎし日を思い出し、これからの子供達の成長を楽しみに生きて行きたいと思っております。

(兵庫県 松尾たき江)

*主人が十一月に亡くなり、もう半年が過ぎようとしています。姉は小学生、弟は幼稚園。いなかにも帰る三人で頑張っています。今になってもまだ信じられない気持ちですけど、現実には帰ってみると本当に居ないとさみしい気持ちです。でも、子供のために頑張っています。このようなお金も主人が頑張ってくれたからとありがたい気持ちです。

(愛媛県 元田恵子)

*下の息子もバイク通学で頑張っています。卒業後は看護士になろうかと思っている様子です。やっとうるがみえかけて来た様に思います。皆様のお陰です。また、次男は高校生になり、急に大人びてみえたりして、改めて十五年の月日を感じております。この子が高校卒業するまでは、何があっても頑張らなくてはと思っています。

(高知県 田宮美知)

*早いもので長男は高校三年生になりました。卒業後は看護士になろうかと思っている様子です。やっとうるがみえかけて来た様に思います。皆様のお陰です。また、次男は高校生になり、急に大人びてみえたりして、改めて十五年の月日を感じております。この子が高校卒業するまでは、何があっても頑張らなくてはと思っています。

(佐賀県 中邑綾子)

*小学・中学・高校と長い間、ありがとうございます。長崎から大阪と遠いようですが、世界に目をむけて「語学を学ぶ」ことを決意し、頑張っています。この大学に合格致しました。これも皆様のお陰です。ありがとうございます。

(長崎県 松永好江)

*早いもので、主人が亡くなり、三年が過ぎました。私たちの心の中に生き続けている主人に対して多くの方々のあたたかい心づかいをいつも報告させて頂いています。

(長崎県 山崎文子)

*小学校五年と三年の男の子の母ともなりますと、本当に毎日が戦争ですが、友達と遊んでいる姿を見ると、やはり安心します。

(大分県 上野富美子)

*アルバイトに頑張っています。少しですが家にも入れてくれて助かっています。

(熊本県 岡村つねこ)

*いつもありがとうございます。息子も四月より中学生になり、学校生活・部活動を頑張っています。

(鹿児島県 橋口あや子)

*小学校・中学校と九年間お世話になりました。お陰様で、無事義務教育を終え、公立高校に入学する事が出来ました。これも育英会の助けがあったからこその心から感謝しております。子供も新しい学校で一生懸命頑張っています。これからもご指導の程よろしくお願ひします。

(鹿児島県 長濱いね子)

奨学生からのお便り

*学生時は、大変お世話になり、ありがとうございます。現在、就職未定ですが、アルバイトをしながら就職活動に励んでいきたいと考えております。

(岩手県 大学卒業 佐々木千鶴)

*今まで長い間、お世話になりました。おかげさまで、楽しい学生生活を送ることができました。これからは、社会人としての責任を持って頑張りたいと思います。

(岩手県 高校卒業 鳥居なつき)

*高校三年間を皆様のおかげで、無事卒業することができ、ありがとうございます。これからも自分の目標に向かって頑張っていきますのでよろしくお願ひします。

(千葉県 高校卒業 若崎真弓)

*いつも奨学金有りがありがとうございます。おかげさまで無事中学を卒業し、高校へ進むことが出来ました。高校へ進んだら、勉強にスポーツ、たくさん友達を作り頑張りたいと思います。

(大分県 中学卒業 濱田和則)

*いつもありがとうございます。二年生になり、専門の講義が増えたので、試験がとても大変です。アルバイトと勉強との両立も大変ですが、私なりに一日一日こなしています。これからもよろしくお願ひします。

(大分県 大二 杉山あい)

漁船海難遺児と母親の文集

作文・詩歌等募集!

昭和45年に設立されました育英会も、平成12年10月29日をもって無事30周年を迎えます。つきましては、これを記念して、「漁船海難遺児の母と子の文集・第6集」を新たに作成することにいたしました。応募要領は以下の通りです。皆さんからの多数のご応募お待ちしております。

題材/作文・詩歌等ともに自由

[例]「事故防止を願って」「お父さんの思い出」「将来の希望」等

○学校生活や家庭の近況など、身近なことでも結構です。

応募内容/作文:原稿用紙(400字詰め)3~4枚程度

詩歌:自由

○作品には氏名・住所・標題の他、在学学生は学校名と学年を、卒業生ならびに保護者の方は勤務先名もしくは職業名等を必ず記入してください。

締切/平成12年7月末日(本会必着)

*応募・お問い合わせは本会まで

励ましおじさん・おばさん

『会員申し込み・奨学資金のご寄付』のお礼

平成十二年三月から五月までの間に、お申し込みをいただいた会員のご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

※「芳名」(敬称略)

- (三月) 岡本恵子/中村定子・継続 (豊中市) 濱谷稔夫/小百合・継続 (大和市) 中森正元・継続 (藤沢市) 小出としえ・継続 (福岡市) (四月) 川本省自・継続 (千葉市) 弓削志郎・新規 (幸手市) 川口恭一・新規 (佐倉市) 北原悦男・新規 (港区) 野沢実・継続 (板橋区) 寺島和子・継続 (長崎市) 根本京子・継続 (品川区) 島喜美子・継続 (吉野郡大淀町) 平田満・継続 (熊本市) (五月) 坂井淳・継続 (横浜市金沢区) 奥手初栄・継続 (京都市中京区)

育英基金

『募金・ご寄付』のお礼

平成十二年三月から五月までにご寄付をいただいた方々のご芳名を掲げ、そのご芳志に厚くお礼申し上げます。

※「芳名」(敬称略)

- 一、漁協系統募金(各都道府県の漁連、信漁連、指導連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会(略称・地方協)等」等取り扱った分、一般寄付金を含みます) (三月) 北海道 根室支庁経済部水産課 第三十八回マリンバンク推進委員全道大会お楽しみ演芸会出場者有志一同 北海道定置青年研究会 宗谷地区漁協事業推進委員会 チャリティー募金 本間水産(株) チャリティーパーザ 収益金 見野光紀 香典返し 新保圓子 香典返し 菊地広幸 沙織 結婚祝い 照井秀夫 見舞い返し 地方協 青森県 地方協 岩手県 岩手県 岩手県 水産振興課 岩手県 水産技術センター 大船渡地方振興局 水産部 宮古地方振興局 水産部 (五月) 静岡県 丸清丸釣り客一同 地方協 大阪府 地方協 和歌山県

都道府県別奨学生数

(平成12年6月末現在)

Table with columns for Prefecture (都道府県), Student Type (奨学生), and Number of Students (人数). It lists data for 47 prefectures and a total row, categorized by elementary, middle, and high school levels.

*中学生には、養護児を含む。 *奨学金貸与奨学生には、入学一時金のみ奨学生を含む。 *平成12年度第1回採用者は内数である。

久慈地方振興局水産部 岩手県漁業取締事務所 陸前高田市役所水産課 三陸町役場 大船渡市役所 釜石市役所 水産課 大槌町役場 山田町役場 宮古市役所 水産課 岩泉町役場 普代村役場 久慈市役所 水産振興課 種市町役場 漁船保険組合 共友会 漁港協会 小型定置協会 岩手県栽培漁業協会 宮古お魚普及協議会 漁港協会 五十周年記念式典 久慈水産高校 PTA 大船渡漁協信用協議会 岩手の鮭まつり実行委員会 広田半島大漁まつり実行委員会 佐々木安彦 香典返し 佐々木幸子 香典返し 山山栄一 地方協 宮城県 宮城県漁協婦人部連合協議会 地方協 山形県 佐藤孫七 地方協 千葉県 食と緑の博覧会水産実行委員会 新潟県 共水連県事務所 共済互助会 漁業共済組合 漁船保険組合 漁業信用基金協会 漁業振興協会 加茂湖かき祭 佐渡さかなまつり 本間組 田名部和宏 中村敏治 地方協 石川県 田吾作 北陸カレンダー 輪島市漁業協同組合 輪島崎婦人部 地方協 福井県 福井県水産加工組合 地方協 静岡県 平井晃 島根県 岸宏 見舞い返し 岡山県 小野勉 香典返し 広島県 玖波かき協議会 山口県 柴田惣二郎 サンプルト国際ホテル 山口 湊漁協 青壮年部 地方協 愛媛県 地方協 福岡県 地方協 長崎県 久保和子 白磯ユキ 亀山佳孝 中山良夫 中林シヅ 長崎県漁協 青壮年部連合会 佐世保市相浦漁協 婦人部 青年部 地方協 鹿児島県 串木野まぐろフェスティバル 実行委員会 地方協 (四月) 茨城県 南部施網漁業親睦会 千葉県 地方協 三重県 アカシヤの会 大漁ふれあい市チャリティーオークション 布施田海女組合 清洋水産(有)村田芳朗 植地基方 出産祝い返し 谷城二 京都府 神田正一 香典返し 宮前英生 香典返し 山口県 林福博 濱川幸一 織田村昭夫 下関漁協 青壮年部 地方協 長崎県 山下力男 持木衛 中山良夫 宇久漁業協同組合 婦人部 地方協 沖縄県 地方協 (五月) 静岡県 丸清丸釣り客一同 地方協 大阪府 地方協 和歌山県

